

コロナを正しく恐れて、笑顔と元気を取り戻そう！

「コロナだから、集まらないよね…」とあきらめていた私たち。でも、感染予防の正しい知識と対策を実践できれば、あきらめなくてもいいことを知りました。大切なのは、ともに考え、学ぶこと、そして、ともに楽しみたいという気持ち。

元気がでるわ〜

去年の1月までを思い出してみると...

収入減 不安

先行き

ストレス

自粛

マスク不足 治療

もう、ずっと人に会っていないの

心配

生活支援コーディネーターに寄せられる声...

責任論

社会参加が介護予防には大切だから、お茶のみサロンを開催したいんだけど...

「自粛警察」

お茶のみサロン... やってもいいのかな...? やらない方がいいのかな...?

生活支援コーディネーター

どうしたらいいの〜!

SOS

でも、新型コロナウイルス感染症が広がって、私たちの生活は激変...

顔なじみが集まって、気軽にお茶を飲んだり、おしゃべりしたり

NPO法人 issue+design 開発
感染予防対策プログラム

正しい知識と対処スキルを、地域の皆さんと一緒に学ぼう！

【感染予防 Play! とは...】

新型コロナウイルスの感染拡大下において、人が集まる場を運営する組織には適切な感染予防策の実施が求められるが、自らのおかれた環境下で、必要な予防策を講じることはなかなか難しい。

人が集う場を運営する方々が、ガイドライン等も参考にしながら「自らが運営する場の適切な感染予防策を構想する力」を養うことを目的に開発されたプログラム。医師等、専門家が監修し、正しい知識と対処スキルをゲーム感覚で学ぶことができる。

ともに楽しむために・ともに考え・ともに学ぼう

“感染予防講座”を開催したよ！

感染予防 Play!

私たちが学んだこと

大切なのは、

- ★感染予防の正しい知識を学ぶこと
- ★安心して活動を行うために、誰かではなく一人ひとりが、それぞれの生活する環境にあった感染予防対策を考え、実践すること
- ★情報交換で、不安な気持ちを減らそう！

■ 全お茶のみサロン(9サロン)の運営者19名が出席

STAGE 1...WARM UP【ゲームでバトル】

「架空スーパーマーケット」を場面に、身近な生活の中で、どこに気をつけてどんな感染予防対策をしたら良いか、仲間と感染予防対策のイメージを上げます

STAGE 2...KNOWLEDGE【正しい知識】

「感染症予防の基礎知識」を、元諏訪中央病院の奥久医師から、動画で楽しく・正しく学びました

STAGE 3...PRACTICE【練習】

事例の写真を参考に、自分たちが関わる「お茶のみサロン」は、どんな感染リスクがあるのか、どんな感染予防策をとる必要があるのか考えました

STAGE 4...ACTION【実行】

知識を持ち帰って、学んだ仲間と一緒に行動。サロンを“やる or やらないも”、学んだことを踏まえて、自分たちで主体的に考えて実践！

来月6月から再開しよう！無理には語かわ”来れる人だけ。いっしょに情報を積極的に取り入れよう。集まるのが大事。いっしょに〜。恐れずぐにできることを。今更にもっと早く本気で確認する。

こんな声・活動につながりました

私たちのサロンでは、やっぱり熱いお茶が飲みたいの。消毒や換気、感染予防をこれまで以上に気をつけて開催しています

怖いという感情は、まだある

自分たちの想いが、見えてきた

ワクチン接種終了後、みんなに再会したい！

今日の学びを、サロンの仲間と共有する。中止しない！

屋内から屋外へ。りんご箱のベンチに腰掛けて歌を歌ったよ。おしゃべりは控えて、映画上映会をやりました

コロナ禍で空いている美術館の中庭で体を動かそう

コロナを正しく恐れて、笑顔と元気を取り戻そう

長野県小布施町 第1層生活支援コーディネーター
小布施町社会福祉協議会 伊藤・馬場
電話:026-242-6665